

関西支部シニア会活動報告

行事名	本年度第1回 通算第20回 特徴ある技術を有する企業見学会
開催日時	2023年6月27日(火) 13:30~16:00
場所	国立国会図書館関西館 京都府相楽郡精華町精華台8-1-3
参加人数	シニア会員 10名
行程	13:30~13:35 シニア会会長挨拶 13:35~14:15 関西館の沿革と概要、科学技術関係資料の紹介と質疑 14:15~14:25 休憩 14:25~15:40 本館閲覧室・書庫、書庫棟などの見学 15:40~16:00 全体質疑 16:00 記念撮影後、自由解散
内容と感想	<p>1) 関西館の沿革と概要 国立国会図書館関西館 総務課 本田伸彰 様 総務課本田様から、国立国会図書館ならびに関西館の役割と概要についてご紹介いただき、質疑応答を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> 国立国会図書館は1948年設立で、国会に属しており、東京本館、関西館、および国際子ども図書館が一体となって運営されている。資料所蔵点数は約4600万点あり、国会議員へのレポート等の提供と共に、我が国で発行される多くの出版物を収集し保存している。 関西館は2002年開館で、当初は600万冊、そして2020年に拡張されてプラス500万冊の収蔵能力となり、東京本館とほぼ同じ収蔵数を有する調査研究図書館である。また特に、アジア関係資料及び科学技術関係資料の収蔵を特徴としている。 来館せずに利用できる遠隔サービスや電子図書館サービスの拠点としても機能しており、デジタル化された図書・雑誌等281万点を閲覧できるようになっている。 <p>2) 科学技術関係資料の紹介 国立国会図書館関西館 文献提供課 水野翔彦 様 文献提供課水野様から、関西館が特徴とする科学技術関係資料をご案内いただき、質疑応答を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> 科学技術関係資料として、各種規格(JIS・ISO等)、学術会議資料(学協会ペーパー・会議録)、博士論文(国内外)、テクニカルレポート、科研費報告書等を所蔵しており、一部は閲覧室にて、また資料請求によって書庫から取り寄せて閲覧できるようになっている。 関係資料は東京本館にも分散されており、すべてが関西館で所蔵されていないが、請求することによって東京本館から取り寄せて閲覧することができる。 学術論文誌を含む有償データベース(CiNii Research・J-STAGE等)を契約しており、利用者は館内の端末で閲覧・プリントアウトできる。 <p>3) 本館閲覧室・書庫、書庫棟などの見学 総務課本田様に関西館内部を詳細にご案内いただき、質疑応答を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> 本館(地上4階・地下4階)の総合閲覧室と書庫、そして書庫棟(地上7階・地下1階)の主要施設を見学した。研究に専念できる研究室と共同研究室をご案内いただいた。また、自動倉庫には140万冊が収蔵されており、デマンドでの稼働状況を見学した。 書庫内は温度22℃/湿度55%に保持されており、建物構造、太陽光発電、及び地中熱利用によって空調エネルギーの低減が図られていた。また、不活性ガスによる消火設備、耐震書架等、資料の保護と環境面への配慮がされていた。 <p>4) 所感 予定時間をオーバーする活発な質疑応答があり、国立国会図書館ならびに関西館の果たす役割、また文書の保管・管理技術について理解を深めることができた。「特徴ある技術を有する企業見学会」の趣旨に沿う見学会となり、参加した会員にとって新たな発見があった有意義な半日となった。</p>



写真1 集合写真



写真2 国立国会図書館関西館



写真3 会議室にて会長挨拶と質疑



写真4 自動書庫